

がん患者コミュニティサロン通信



+日本赤十字社 秋田赤十字病院 がん相談支援センター
〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢 222-1
☎ 018-829-5000 (内線 2182)



東北の夏祭りを代表する「秋田竿燈まつり」。光の稲穂が夏の夜空を彩り、今年も大きな感動を与えてくれました。さて、猛暑が続いていますが、気温が30度を超えると熱中症が急増し始めるそうです。「食事、水分、睡眠をしっかりと」そして、暑い時は無理をせず、まずは夏バテにならない生活を送ることが大事とのこと。体調管理に注意し、この猛暑を元気に乗りきりましょう！



～この間のサロンの会より～

5月は患者さんやご家族12名・職員さん7名、6月は患者さんやご家族11名・職員さん5名、7月は「血液内科・野口先生」によるレクチャーに参加したいと、患者さんやご家族、他おおよそ20名・職員さん10名ちかい方々の参加をいただきました。今までにないほど、大勢の方々に会場が熱気にあふれていました。

この間の会では、① 病気について、自分が今どういう状態におかれているのかが曖昧で今後どうなるのか不安だ。との発言がありました。「早期胃がん」と診断され、手術方向となったものの、体力がなく一旦退院。しかし、まもなく胸水が貯まり再入院となった。改善すれば一旦退院となるが、自分の体がどうなっているのかわからない。本当に早期胃がんなのか？家族に聞いてもはっきりしない。主治医にも面と向かって聞けずにいるというお話をいただきました。

お話を伺って、さぞ辛い心境におかれているだろうと感じました。患者の心理状態は何か隠してるのでは？など悪いほうに捉えがちです。ご本人が納得できる説明と治療方針や病状について、ご家族だけでなく、ご本人自身が病気の状態を知り、理解することで不安や不信感などの軽減につながるのではないのでしょうか。そのためには 患者を中心とした、ご家族・医師・看護師の連携のあり方が大切だと思いました。

② 家族に対して「がんのステージや病気について」、どこまで話したらいいものだろうかというお話がありました。発言された方は、働き盛りの年齢でお子さんがいらっしやいます。そして年老いたご両親の元、一人っ子とのこと。現在、お母さんが

(裏ページへ) ⇒

お父さんを介護されており、お父さんはご自身と同じがんを患っていたという病歴もあり、なおさら自分の病状については伏せているとのこと。「あなたは大丈夫？」と両親に聞かれることを考えると不安だ。また、ステージが重いため、この先の寿命、両親のこと、子どもたちのことを考えるとつらいとお話されました。

参加頂いている守田先生は昨年、父親のがん告知に直面したそうです。父親は「娘には言わないでほしい」と、先生に仰ったそうです。そのつらい体験から、父親と家族の時間の共有や、これから先、がんと向き合わなければならない現実、共に壁を乗り越えるためにも家族に告知するということがあるのではないだろうか。一人で背負わず、つらい時は伝えてみるということも方法の一つでは。との助言をしていただきました。

緩和ケアで命が救われたという参加者は、ステージⅣと病気の重症度、治療選択など深刻な状況だったことから、自分を中心に家族揃って主治医から告知を受けた。自分よりも家族の苦悩を思うとやるせなかった。しかし、共有することで、つらい現実立ち向かうことができた。家族の支えは大きい、一人では乗り越えることができなかつたでしょう。難題は年老いた母への対応でした。すでに亡くなったが、老い先短い親に残酷すぎると判断し、あえて自分の口から触れることはありませんでした。そのことを母は察していたと思うが、これで良かったと思っていると、お話されました。

おかれている家族背景、社会的背景、年代、生き方、考え方など個々に異なります。「がん」という共通した病気をもつ体験者の一人として、病気のつらさを一人で背負うには、現実が重すぎます。ともすれば心が病んでしまいます。支え合える家族や友人サロンの会などで、抱えている「つらさ」という荷物を、時には下ろすことも必要ではないでしょうか。

<5月のレクチャーより> ~ 医療費について ~

今年4月から制度変更関連に基づく「医療費」が部分的に変更されました。私たちにどう影響するものなのか、赤十字病院医事課・佐々木課長さんと鈴木さんからお話を伺いました。

- ★再診料について⇒赤十字病院の場合は現行の **730 円**。(1割~3割負担で個々に異なる)
- ★大病院を紹介状なしでの初診料について⇒特定機能病院が該当になるので赤十字病院の場合は現行の **2,000 円**。*該当する秋田大学病院の場合は **5,400 円**かかるそうです。
- ★入院給食費について⇒一食 **260 円**から **360 円**となる。(値上がり分は病院でなく国へ入る)
- ★4月からスタートした「患者申出療養制度」について⇒臨床病院・中核病院が対象であり、秋田県では該当する病院はないとのこと。

◎医療費について、赤十字病院の場合ほとんど現行どおりとのお話をお聞きし、経済的負担につながらず、安心して医療を受けられることに安堵しました。